

TOPICS
3

トピックス…③

主要乳製品輸出国における生乳生産の見通し

米国農務省（USDA）は昨年12月、同省海外農業局（Foreign Agricultural Service）が取りまとめた“Dairy：World Markets and Trade”を公表し、2016年における世界の乳製品需給見通しを明らかにした。その中から、国際乳製品市場に大きな影響力を有する主要乳製品輸出国の生乳生産見通しを紹介する。

2015年における主要乳製品輸出国の生乳生産量は、4%の増加を記録した2014年の反動で、前年対比1%の増加に止まる見込みである。2016年の生乳生産量は、生産者乳価の低迷により伸び悩み、前年対比1%未満の緩やかな増加となると予測されている。

主要乳製品輸出国の生乳生産見通し

単位：百万トン、%

	2014年 (実績)	2015年 (見込)	2016年 (予測)	2016年/2015年 (前年対比)
アルゼンチン	11.3	11.5	11.7	1.7
オーストラリア	9.7	10.0	10.0	0.0
EU-28	146.5	148.1	149.0	0.6
ニュージーランド	21.9	21.4	20.7	-3.3
米国	93.5	94.5	96.3	1.9
計	282.9	285.5	287.7	0.8

資料：米国農務省海外農業局

アルゼンチン

厳しい状況にもかかわらず、2015年の生乳生産量は11.5百万トンに達し、前年対比1%以上の増加になる見込みである。酪農家は豪雨から干ばつという厳しい気象変動に直面したが、生乳生産への影響を最小限に止めることができた。大きな問題は、生産者乳価の低迷、年間30%に及ぶインフレ、ペソ高、許可制による輸出制限措置などであった。小規模経営の廃業により、2015年の乳牛飼養頭数は前年対比4%減少し、1,875千頭に減少した見込みである。この生産構造の変化は、乳牛1頭当たり生乳生産量の6%向上という生産性の改善をもたらす見込みである。

2016年の生乳生産量は、平年並みの気象であれば、1.7%増加し、11.7百万トンに達すると予測される。乳牛飼養頭数は前年対比で3%減少するものの、乳牛1頭当たり生乳生産量の向上が生乳生産量の増加に貢献する。

オーストラリア

適度の降雨に恵まれ、牧草の生育状況が良好であったため、2015年の1月から9月までの生乳生産量は前年同期比で6%近く増加した。その後の降雨量も平年並みの予想であった。また、生産性向上のため、新しい生産技術と経営管理システムが導入されている。その結果、2015年の生乳生産量は、前年対比3%増の10百万トンと見込まれる。これは、1頭当たり生産量が3%増加したことによる。

2016年の乳牛飼養頭数は、前年並みの1.7百万頭と見込まれる。したがって、平年並みの気象であれば、2016年の生乳生産量は前年と同水準となると予測される。

EU-28

2015年9月までの生乳生産量は、生産者乳価の低迷にもかかわらず、前年同期比で1.5%増加した。2015年9月までの平均生産者乳価は、前年の平均乳価より約20%低下した。その結果、年間の生乳生産量は前年対比1%増の148.1百万トンとなる見込みである。これは、2014年に記録した前年対比5%増からの明らかな減速であ

る。このような状況のなか、アイルランドでは9月までの生乳生産量が前年同期比で10%増加した。

2016年の生乳生産量は、生産者乳価の低迷と数カ国での牧草生産量の減少により、伸び悩むことが予測される。2015年7月から8月の乾燥と高温が、ドイツやフランスのような酪農主要国を襲ったため、牧草の生産量は減少し、乳牛はストレスによる淘汰が増加した。この干ばつは、2016年前半の生乳生産量に影響を及ぼすことが予想される。乳牛の淘汰は、徐々に飼養頭数を減少させる一方、泌乳能力の低い乳牛の更新を促進し、1頭当たり生乳生産量を増加させるという好ましい影響を及ぼす。

ニュージーランド

2015年8月までの生乳生産量は、前年同期比で1%増であった。しかし、9月になると急激な減産となり、それ以降は前年同期比で1%近く下回る見込みである。生産者乳価の低迷は、生産コストの削減、乳牛の淘汰、濃厚飼料給与量の削減など、酪農家の負担を大きくしている。10月までに屠畜された乳牛頭数は1.1百万頭に達し、昨年を22%も上回っている。加えて、冬から初春（6月～9月中旬）の気候は例年より寒く、牧草の生育に悪影響が出た。結果として、2015年の生乳生産量は、前年対比で2%減の21.4百万トンと見込まれる。

2016年も生産者乳価の低迷が続き、酪農家は乳牛飼養頭数と濃厚飼料給与量の削減を強いられそうである。結果的に、乳牛飼養頭数は2%以上削減され、5.1百万頭になり、生乳生産量は前年対比で3.3%減の20.7百万トンになると予測される。

米国

2015年の生乳生産量は、前年対比で1%増の94.5百万トンになる見込みである。乳牛飼養頭数は、前年対比で1%増の9.3百万頭であった。

2016年の乳牛飼養頭数は前年と同水準であるが、生乳生産量は前年対比で1.9%増の96.3百万トンになると予測される。